



埼玉縣立上尾高等学校

令和2年度 第5号 令和2年8月25日(火) 発行

発行責任者 校長 林 昭雄

8月25日(火)2学期が無事スタートできたことに感謝申し上げます。グーグルクラスルームでの健康観察資料をもとに、お子様の心身の健康管理を学校と家庭で連携して行えたことは大変有意義に感じています。御協力ありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染状況は依然改善されることなく推移し、学校や職場、会食、家庭内等でも陽性確認の報告が続いています。1学期に行っていた「時差登校」を当面の間継続するとともに、「マスク」「手洗い」「換気」「3密を避ける」「共有物等の消毒」など、基本的な感染予防対策を引き続き行ってまいります。また毎朝検温を行っていただき、体調がすぐれない時は登校しないことを御確認ください。出席停止扱いやその間の学習等については担任とお話してください。よろしくお願いいたします。

この「学校だより」の裏面は、毎号「進路に関する」内容となっています。果たして保護者の皆様のニーズに合っているのだろうかと考え、アンケートを取らせていただきました。結果は裏面のとおりです。この結果を活かした紙面づくりを行ってまいります。

大学入学共通テストが①令和3年1月16日(土)・17日(日)と②1月30日(土)・31日(日)に行われます。志願者は①か②のどちらで受験するのかを志願表提出時に自分で決めることになります。両日程のメリット・デメリットを平均点、私大入試、国公立2次試験、大手予備校の見解等の観点から、9月1日(火)に行われる「共通テスト説明会」で生徒に説明する予定です。本校各教科は1月16日(土)・17日(日)の日程を想定し、授業内容を組み立てています。どのような日程で大学入試を乗り切っていくの

か、お子様と御相談くださるようお願いいたします。御不明の点があれば、遠慮なく担任に御連絡ください。

就職する生徒も、会社見学を経て志望先を決定していきます。その後は面接練習等を行い、10月の採用試験に臨みます。

必死に勉強しているのに、まったく成績が上がらない人が東大に合格した友人に勉強法や思考法を聞いた結果、「東大生は『生まれつきの頭の良さ』以前に、『頭の使い方』が根本的に違うことに気づき、その『頭の使い方』を真似した結果、成績が急上昇し、東大に合格することができた」という記事がありました。

東大生の勉強は、机の上だけでは完結しないようです。普段、何気ない日常生活を送る中で、そこから学びにつなげるような思考をしています。たとえば街を歩いているときに、「なんでコンビニはこんなに近接して立地しているんだろう?」「promise は約束って意味の英単語だけど、それがどうして金融の会社の名前に使われているんだろう?」などと、日常のささいなことに疑問を持って、そこから学びに発展させるようです。また、模試をして、誤答があった場合、普通に「間違えちゃったなー」「気をつけなきゃ!」としか思わないのではなく、「どうしてここで間違えたんだろう?」と考えて、「これはきっと、〇〇の知識がなかったから解けなかったのだから」「この問題形式に慣れていなかったからこういうミスをしてしまったのだから」などと、自分の誤答を次に活かせるように分析し、解決しようとしています。こうしたことを積み重ねていく結果、実力がついていくのだと説明されています。